

制作 **ゲーム** **運動** 介護の現場で役立ちます!

現場で役立つ情報がいっぱい!

レクリエ

検索

<http://recrea.jp/>

遊びに来てね!



RECREA

# レクリエ

11・12月<sup>[2017]</sup>  
別冊家庭画報

特集



日常生活動作向上⑤

## 掃除・洗濯のための 体操&ゲーム

11・12月の制作

### サンタの吊るし飾り

雪の結晶のオーナメント  
俳句の短冊  
牛乳パックの小物入れ  
犬はりこ

認知症の人とのコミュニケーションに

### 「バリデーション」を生かそう

11・12月の壁画

### 銀杏並木の散歩道

毎月作ろう!  
季節のカレンダー  
ホットプレートで料理レク!

今日は  
何の日?

から広がるコミュニケーション

コピーして使える

パズル  
&  
ぬり絵



「ミストラル介護センター綾部」



外出レクも大人気

回転すしなどへの外食ツアー、花見など外出レクも人気。写真は、120本のバラが植栽された「綾部バラ園」。

タップマスター

ひとりでも、上に専用機器を置けば数人でも利用可能。リラックスして、みんなのおしゃべりも喜び、利用者。



地域貢献も積極的に

「地域に必要とされる会社でありたい」と、地域貢献も積極的に行っています。



出前サロン。地域住民が集まる介護予防教室で、スタッフが認知症予防運動を指導。



京都府の委託を受け、スタッフが講師になって職業訓練校で介護職員初任者研修を行う。



楽しみながら頭の体操

手指を使って紙を広げ、数字を定めて数の大きさを競う「広げてなんぼ?」。楽しみながら機能向上と脳を活性化。

「家に関するこもりさきりになっていく方も、老々介護で心身ともに疲れ果てたご家族もいました。訪問介護を行い、マイサービスの必要性を認識しました」  
 そして2006年、「複合的な介護事業のモデルとなる会社でありたい」と綾部市の小学校跡地に訪問介護ステーションと介護職員を養成する研修センターを併設した第一号デイサービス「ミストラル介護センター綾部」を開業。さらに2017年には介護予防のための健康センターも増設しました。  
 「ミストラルサービスのミストラルとは南フランスに吹く季節風のこと。この風が吹いた後は春の到来です。介護業界に新しい風を吹き込み、そして春のような温かいサービスを提供していきたい。そう思って社名をミストラルサービスとし、名に恥じないように走り続けてきました」  
 ションと介護職員を養成する研修センターを併設した第一号デイサービス「ミストラル介護センター綾部」を開業。家で暮らすのが難しくなってもミストラルサービスさんのお世話になりたい」という利用者の声を受け、2012年にはグループホームも設立しました（グループアイトイ併設）。在宅介護の二本柱は訪問介護とデイサービスとショートステイ。ショートステイの代わりにグループホームが開業でき、三本柱の雛形が完成しました」と小林さん。さらに2017年には介護予防のための健康センターも増設しました。  
 「ミストラルサービスのミストラルとは南フランスに吹く季節風のこと。この風が吹いた後は春の到来です。介護業界に新しい風を吹き込み、そして春のような温かいサービスを提供していきたい。そう思って社名をミストラルサービスとし、名に恥じないように走り続けてきました」  
 どうすれば利用者が楽しく機能と健康を維持できるか？ 工夫を重ねているのはレクリエーションも同じです。ミストラル介護センター綾部は定員38名の大規模デイです。  
 「スタッフ総出で考え、雑誌などにあるレクを大勢で楽しめるようにアレンジしています。新メニューは1週間続けて行い、利用者様の意見も聞きながら改善を重ねています」  
 そうやって楽しみながら機能向上ができるレクリエーションを編みだし、人気の高いメニューは継続しているそうです。「もちろん、強制参加ではありません。でもほとんどの方が参加してくれまます」と小林さん。レクの内容を精査しているからでしょう。  
 取材当日に行われていたレク「広げてなんぼ?」にも、利用者35名のほとんどが参加していました。これは利用者3チームに分かれ、各自が箱から丸めた紙を3個ずつとって広げ、なかに記された数字を足し算して数の大き

DATA

1998年株式会社ミストラルサービスを設立。訪問介護、デイサービス、グループホーム&グループデイ、訪問入浴介護、介護輸送(介護タクシー)、居宅介護支援を提供。2016年フランスベッド株式会社から通所介護事業を承継。2017年8月現在、デイサービスセンター11か所、訪問介護拠点3か所(デイサービス併設を含む)、認知症対応型グループホーム&グループデイ1か所。ほかに介護養成研修、介護用品販売、オリジナルサービス、従業員数285名。

私たちにとってのレクリエーションとは  
**利用者もスタッフも  
 幸せが実感できる  
 サービスを目指して**

京都府を中心に訪問介護、デイサービス、グループホーム、介護予防のための健康センターなど複合的な介護事業を展開している株式会社ミストラルサービス。なかでも事業の柱としているのがデイサービスです。「在宅介護においてデイサービスは必要不可欠」と言う代表取締役の小林勝社長にお話を伺いました。

取材・文/佐藤ゆかり

最前線インタビュー  
 株式会社  
 ミストラルサービス

代表取締役  
**小林 勝氏**

京都府北部初の  
 24時間訪問介護を開始

1998年、京都府の綾部市と三和町(現・福知山市三和町)で24時間365日の訪問介護を開始したミストラルサービス。当時、京都府北部で早朝や深夜の訪問介護を行っていると、ころはありませんでした。でも介護に昼も夜もありません。介護が必要な方がご家族はどれほど大変な思いをされているのか。誰もやらないのなら、自分たちでやろう。そう思いました」と、代表取締役の小林勝社長は話します。  
 また2000年3月にはホームヘルパー養成講座も開講しました。  
 「100名を超える応募がありました。半数以上の人が介護職に就いてくれ、介護保険制度の開始とともに急増した訪問介護の依頼に対応できました。今も継続して働いてくれているメンバーもいます」  
 訪問介護の依頼は利用者や家族からのSOSと受け止め、断らない、迅速対応、質のレベルアップを合言葉にサービスを続けて8年。  
 「家に閉じこもりさきりになっていく方も、老々介護で心身ともに疲れ果てたご家族もいました。訪問介護を行い、マイサービスの必要性を認識しました」  
 そして2006年、「複合的な介護事業のモデルとなる会社でありたい」と綾部市の小学校跡地に訪問介護ステーションと介護職員を養成する研修センターを併設した第一号デイサービス「ミストラル介護センター綾部」を開業。さらに2017年には介護予防のための健康センターも増設しました。  
 「ミストラルサービスのミストラルとは南フランスに吹く季節風のこと。この風が吹いた後は春の到来です。介護業界に新しい風を吹き込み、そして春のような温かいサービスを提供していきたい。そう思って社名をミストラルサービスとし、名に恥じないように走り続けてきました」



株式会社ミストラルサービス  
 代表取締役

**小林 勝氏**

MASARU KOBAYASHI

横浜で機械設計などに従事し、1990年に41歳で故郷の京都府綾部市にUターン。営業職に就くも、高齢化が進む地域の将来を案じて介護事業のあり方を模索。1998年に株式会社ミストラルサービスを立ち上げ、24時間365日の訪問介護を開始。その後、デイサービス、グループホーム&グループデイなどを設立。介護専門職門。

さらに2016年、フランスベッド株式会社が開業していた一般型デイサービス3か所と運動口心型デイサービス5か所の事業を承継。2017年8月現在、デイサービス11か所、訪問介護拠点3か所、グループホーム&グループデイ1か所を展開しています。  
**健康と機能維持のために  
 よいものは即、取り入れる**  
 では、デイサービスではどのような取り組みを行っているのでしょうか。会社の中核を成す「ミストラル介護センター綾部」のデイサービスの一番人気は、タップマスター。とか。  
 「マシンを使ったような機能訓練にできない方も多いため、無理なく機能向上を実現するためにはどうしたらいいか? 新しい方法を模索していた2016年、福祉用具の展示会でタップマスターと出会いました」  
 タップマスターは運動器具で